

TISには25カ国から100人超の生徒が通う

# 東北インターナショナルスクール



東北インターナショナルスクール(TIS、仙台市)は、海外の大学入学資格などが得られる国際的な教育プログラム「国際バカロレア(I B)」の認定を受けた。認定されたのは3〜12歳を対象とする幼稚・小学課程で、東北の教育機関では初めて。子供を持つ外国人が住みやすい街づくりに向け、仙台市の教育環境の整備がさらに進みそうだ。

# 「国際バカロレア」認定

## 国際的な教育プログラム

## まず幼稚・小学課程

▼国際バカロレア機構1968年、インターナショナルスクールの卒業生に国際的に認められる大学入学資格を与えるために発足した。本部はジュネーブ。柔軟な知性の育成と国際理解教育の

推進を目指す、共通カリキュラムの作成や認定校の決定、試験や資格の授与などを実施している。世界の有力大学がIBを入学資格に認めている。IBには大学入学資格を得られるDP(16〜19

TISは幼稚課程、小学課程、中学・高等課程のカリキュラムがある。26日付で認定を受けたのは、「プライマリー・イヤ・プログラム(PYP)」と呼ばれる3〜12歳対象のカテゴリーで、同校の幼稚・小学課程に導入する。TISは2014年からカリキュラムをPYP向けに変え、教員配置なども認定に沿うよう準備を進めていた。PYPの特徴は「双方向型、能動的・参加型、

探求型」とされる。生徒らは各自が自由に「地球環境」「人種」「歴史」などのテーマを選び、リサーチした結果を議論し合うほか、校外学習にも出向く。先生は子供から質問を引き出すような教え方をする。生徒はこうしたテーマごとに英語や算数、社会などの科目を横断的に学んでいく。TISは2年後をめどに、16〜19歳対象の「ディプロマ・プログラム(DP)」の認定を目指す。DP認定校となれば、東北では仙台育英学園高等学校に次いで2校目となるが、仙台育英高校は一部日本語で習得できたため、英語によるプログラムでは東北初となる。

シエームズ・スチュワード校長は「IB認定校になれば学校の認知度が上がる」と期待する。娘2人をTISに通わせるパイロットの本セ・サバテロ氏は「仙台に住む様々な国籍の人にとって国際的に認められた教育を子供に受けさせられるのは非常に良い」と話す。仙台市には、多くの外国人研究者・教員を採用している東北大学、次世代加速器「国際リニアコライダー(ILC)」の

誘致を目指す東北ILC推進協議会などがあり、市も次世代型放射光施設の誘致を目指している。外国人研究者が日本に根を下ろして活動するに

は、子供の教育の場が課題になっており、国際的な教育インフラが整うことに期待が高まっている。TISには25カ国の生徒が105人在籍している。PYPとDPの取得により学校の認知度を高めて、将来的に150人ほどまで生徒数を増やす計画だ。